12/4 朝刊

再感染リスク 従来の3倍か

「オミクロン株」 南ア 分析結果

【ヨハネスブルク＝ロイター時事】南アフリカの国立伝染病研究所（NICD）などの研究グループは2日、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」について、再感染のリスクがデルタ株やベータ株の3倍に達するとする分析結果を公表しました。

これについて同グループは「以前の感染による免疫を回避するオミクロン株の能力を示す疫学的証拠」を提供するものだと指摘しています。昨年3月から今年11月27日までの南ア国内のデータを分析したところ、「オミクロン株の再感染リスクは第2、第3波中のベータ株やデルタ株よりも大幅に高い」ことが示されたといいます。

南アでは新型コロナ感染が急増しており、10日前は312人だった1日当たりの新規感染者は2日、1万1535人に達しました。